

選抜の基本方針

- (1) 学力検査と調査書の記録に差を設け、学力検査重視の選抜を行うこととする。
- (2) 受検生一人一人の能力をより適切に測るため、数学と英語の学力検査は学校選択問題で実施する。
- (3) 調査書の「特別活動等の記録」、特に部活動・生徒会活動に積極的に取り組み、成果を上げた者の選抜に配慮する。

選抜資料

○学力検査の扱い				……………	[500点]
		1年	2年	3年	
○調査書の扱い	学習の記録の得点	(1 : 2 : 3)	……………	(270点)	} …… [350点]
	特別活動等の記録の得点		……………	(60点)	
	その他の項目の得点		……………	(20点)	
○その他の資料	なし				

一般募集

- 第1次選抜（70%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③その他	④合計
500点	350点	実施しない	850点

- 第2次選抜（30%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦その他	⑧合計
500点	215点	実施しない	715点

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（60点）】

- 学級活動・生徒会活動・学校行事

以下について得点を与える。

- ・生徒会長など
- ・その他評価できるもの（埼玉県駅伝競走大会など）

- 部活動及び部活動に属さない活動

以下の区分を目安として、活動実績を評価し、

実績に応じて得点を与える。なお、主催団体・予選の有無・大会規模等を考慮する。

- ・運動系；全国規模大会出場、関東規模大会出場、県規模大会出場など
- ・文化系；全国規模大会出場・出展、関東規模大会などへの出場・出展、県大会等への出場・出展など

【その他の項目の得点（20点）】

- 資格取得等

漢字検定準2級、英語検定準2級、数学検定準2級以上の資格を取得している場合などに得点を与える。

- 表彰等

以下について得点を与える。

- ・教育長賞、知事賞など

- ボランティア活動

特に優れた実績がある場合に得点を与える。

- その他顕著なものとして評価できる場合に得点を与える。

第2志望

理数科と普通科の間で相互に第2志望を認める。

その他

なし